

事業名： 幼保小連携推進事業

総務課 総務係

政 策	06 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	01 子育て環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	幼稚園・小学校の教諭、保育園の保育士
手段（事務事業の内容、やり方）	要望書等を通じての意見交換や情報交換を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	幼児教育等の重要性を認識する。幼児教育から小学校教育への円滑な接続ができるようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	教諭、保育士の数	人	671	659	682	659
対象指標 2						
活動指標 1	情報交換等の開催回数	回	2	2	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	情報交換等の参加者数	人	21	16	20	16
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	803	802	806	782

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	情報交換（効果的な接続方法等）	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：私立幼稚園補助金（連合会補助金）

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の 基本方針	01 子育て環境の充実			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
私立幼稚園連合会、市内各幼稚園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、私立幼稚園連合会に対して、研修、広報、PTA活動等に必要な経費を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
幼稚園教職員の資質向上を図るため研修事業を実施するほか、市民や保護者に各園の特色について理解を深めてもらうため、広報活動を積極的に展開するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	加盟幼稚園数	園	13	13	13	13
対象指標 2	加盟幼稚園の教職員数	人	158.5	162	162	170
活動指標 1	補助金額	千円	500	500	500	500
活動指標 2			0	0	0	0
成果指標 1	研修会参加人数	人	110	120	130	120
成果指標 2	配布したパンフレットの数	部	94,108	94,903	94,108	95,000
事業費 (A)		千円	500	500	500	500
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	1,704	1,702	1,708	1,674

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修事業及び広報活動に対して補助金を支出。</li> <li>・PTA連合会活動事業に対して補助金を支出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修事業及び広報活動への補助金 400千円</li> <li>・PTA連合会活動事業への補助金 100千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：私立幼稚園施設整備費貸付金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の基本方針	01 子育て環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内各幼稚園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市私立幼稚園貸付要綱」に基づき、園舎新增改築及び園地取得に当たり、金融機関を通して、市が預託方式により融資する。 園舎の新增改築事業については、1平方メートル当たり建築単価に必要面積を乗じて得た額の10分の2以内の額を、園地の取得事業については取得価格の10分の2以内の額とする。（上限：2,000万円/園）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
低利子で融資を受けることができ、安定した幼稚園運営をするようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	幼稚園数	園	13	13	13	13
対象指標 2						
活動指標 1	預託金額	千円	0	0	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	貸付件数	件	0	0	1	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	1	1
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1	1

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	申請に基づき融資。	貸付金

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：私立幼稚園補助金（運営費補助金）

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	01 子育て環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内各幼稚園	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、市内各幼稚園に対し補助金を交付する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
特色ある幼児教育を展開し、就園率を向上させるようにする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	幼稚園数	園	13	13	13	13
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	20,000	20,000	20,000	20,000
活動指標 2						
成果指標 1	就園率	%	60.8	63.5	63.5	63.5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	20,000	20,000	20,000	20,000
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	21,605	21,603	21,611	21,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内各幼稚園に補助金を支出。	補助金配分項目 ・均等割 1園当たり 200千円 ・教職員割 1人当たり 30千円 ・学級割 1学級当たり 109千円 ・特別支援割 教諭1人あたり 50千円 ・預かり保育割 延べ園児1人あたり 150円 ・未就園保育割 延べ園児1人あたり 100円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：私立幼稚園補助金（障がい児教育補助金）

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	01 子育て環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内幼稚園（障がい児教育実施園）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、障がいのある幼児を受け入れている幼稚園に対し、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
負担が軽減され、障がいのある幼児の受入体制が充実する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内幼稚園数	園	13	13	13	13
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,300	2,500	2,500	2,500
活動指標 2						
成果指標 1	受入人数	人	23	25	25	25
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,300	2,500	2,500	2,500
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	3,504	3,702	3,708	3,674

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	障がいのある幼児を受け入れている幼稚園に対し、補助金を支出。	受入幼児1人当たり 100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：幼稚園就園奨励費補助金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
幼稚園、幼稚園就園児の保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則」に基づき、一定の対象要件に該当する園児の保護者に対し、入園料及び保育料を減免した幼稚園に、市が減免相当額を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
保護者の経済的負担が軽減され、就園率が向上する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	幼稚園就園児童の保護者数（園児数）	人	1,596	1,643	1,643	1,571
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	153,234	153,977	172,166	185,816
活動指標 2	申請審査数	件	1,529	1,538	1,539	1,540
成果指標 1	減免園児数	人	1,512	1,507	1,514	1,485
成果指標 2	就園率	%	60.8	63.5	63.5	63.5
事業費 (A)		千円	153,234	153,977	172,166	185,816
正職員人件費 (B)		千円	3,612	3,607	3,625	3,130
総事業費 (A+B)		千円	156,846	157,584	175,791	188,946

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	園児の保護者に対し、入園料及び保育料を減免した幼稚園に、補助金を支出。	補助金合計 185,816千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：レッツ・イングリッシュ外国青年招致事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和63年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立中学校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内中学校で英語の授業を行う際に、外国語指導助手（ALT）を派遣する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
外国人とコミュニケーションをとる機会を提供することにより、生徒の基礎的・実践的コミュニケーション能力（聞く・話す・読む・書く）の向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	中学校生徒数	人	3,645	3,528	3,430	3,361
対象指標 2						
活動指標 1	外国語指導助手人数	人	2	2	2	2
活動指標 2	ALTによる1クラス当たりの授業時数（年間）	時間	6.9	9.6	6.9	9.6
成果指標 1	英語の総授業時数のうちALTが授業に入った割合	%	7.9	6.8	7.9	6.8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	8,905	7,912	8,921	7,386
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	10,510	9,515	10,532	8,951

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内中学校で英語の授業を行う際に、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	外国語指導助手派遣費用 7,386千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校図書館の図書の新規購入・更新									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学校図書の充実により、児童生徒が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	図書購入冊数	冊	12,864	13,085	16,192	18,184
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	2,847	1,907	1,411	1,237
成果指標 1	蔵書率	%	68.6	74.9	78.7	82
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	19,327	18,726	19,411	19,226
正職員人件費 (B)		千円	3,210	3,206	3,222	3,128
総事業費 (A+B)		千円	22,537	21,932	22,633	22,354

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	図書の購入	図書購入費 小学校11,500千円 中学校 6,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：教育研究会事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市教育研究会
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	江別市教育研究会の研究活動等を通じて教職員の研修等を進め、資質の向上を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	626	608	619	621
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	5,200	5,200	5,200	5,200
活動指標 2						
成果指標 1	研修会等開催日数	日	171	208	224	224
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,200	5,200	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	6,003	6,002	6,006	5,982

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
スキー授業を受ける小中学校児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
スキー授業の実施に当たり、1回分のバス賃借料を負担する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スキー授業実施に係るバス借上料の助成を行い、保護者の負担軽減を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	6,391	6,280	6,273	6,031
対象指標 2						
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	177	176	195	190
活動指標 2						
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	6,391	6,280	6,273	6,031
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,508	7,207	9,141	15,390
正職員人件費 (B)		千円	803	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	7,311	8,810	10,752	16,955

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	スキー授業の実施に当たり、1回分のバス賃借料を負担する。	バス賃借料 15,390 千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市教育研究所									
手段（事務事業の内容、やり方）									
教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市の教育の進展と充実を図る									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	研修会等開催回数	回	3	3	3	5
活動指標 2						
成果指標 1	研修会等参加者数	人	559	540	540	603
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,683	2,041	2,256	2,216
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	4,486	2,843	3,062	2,998

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供</li> <li>教育相談・研修及び関係各機関との交流</li> <li>教育研究所所報等の出版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究所運営経費 1,934千円</li> <li>教職員セミナー等研修会開催経費 204千円</li> <li>家庭向けリーフレット作成経費 78千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援学級生活介助事業

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
特別支援学級を設置している小中学校に生活介助員（非常勤）を配置する。又、特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
一人ひとりの教育的ニーズに則した支援の実現を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童・生徒数	人	138	152	165	172
対象指標 2						
活動指標 1	支援員（特別支援学級生活介助員）数	人	21	23	24	25
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	50	54	54	66
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.94	1.97	1.9	1.89
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	37,065	40,406	43,563	45,773
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,956
総事業費 (A+B)		千円	38,670	42,009	45,174	47,729

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別支援学級介助員）の配置</li> <li>特別支援学級の運営</li> <li>特別支援教育教室等の改修</li> <li>障がい児教育に必要な器具の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別支援学級介助員）報酬：40,053千円</li> <li>特別支援学級の運営経費（消耗品外）：3,280千円</li> <li>特別支援教育教室等の改修費用：1,340千円</li> <li>障がい児教育に必要な器具の購入：1,100千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：学校適正配置推進事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・小中学校の児童生徒</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性や将来動向を見極め、保護者や地域等の理解を得ながら、統廃合など学校規模の適正化を行う。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が児童生徒の教育環境として適正な規模となる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校数	校	28	28	27	27
対象指標 2	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
活動指標 1	学校統合に係る協議の開催回数	回	7	9	7	10
活動指標 2						
成果指標 1	適正な学校規模（12～18学級）にある学校数	校	13	13	13	14
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	31,045	11,273	25,216	589
正職員人件費 (B)		千円	12,039	9,619	9,667	12,518
総事業費 (A+B)		千円	43,084	20,892	34,883	13,107

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別小学校と江別第三小学校の統合校開校に必要な協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合校準備委員会開催経費 89千円</li> <li>・統合関連委託経費 500千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小・中学校児童・生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。 給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。 「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。 児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	203	205	204	203
活動指標 2						
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	47.2	46.6	47.2	47.2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	225,893	230,591	229,448	237,518
正職員人件費 (B)		千円	142,060	133,867	142,591	130,661
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>367,953</b>	<b>364,458</b>	<b>372,039</b>	<b>368,179</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理場運営、維持管理費用</li> <li>配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費</li> <li>給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費</li> <li>江別市学校給食会運営費への補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配膳員等報酬費 57,119千円</li> <li>重油代 24,613千円</li> <li>電気料 13,976千円</li> <li>水道料 13,432千円</li> <li>学校給食配送業務委託料 46,977千円</li> <li>江別市学校給食会運営費補助金 20,480千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：校舎屋体耐震化事業

総務課 施設係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎・屋体の耐震診断調査の実施</li> <li>・耐震改修方法の検討（改修の必要性を含む）</li> <li>・耐震改修に要する概算工事費の算出</li> <li>・耐震診断の結果、耐震化が必要と診断された場合、実施設計、改修工事を段階的に実施</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地震による被害を最小限にとどめ、安全な教育環境を確保するための補強等の方法、内容を明らかにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内小中学校	校	28	28	27	27
対象指標 2	全棟数	棟	107	105	103	104
活動指標 1	耐震化（改修、改築）を行う学校数	校	3	1	1	3
活動指標 2						
成果指標 1	耐震性があるまたは補強済みの棟数	校	89	89	89	90
成果指標 2	耐震化率	%	83.2	84.8	86.4	86.5
事業費 (A)		千円	101,851	45,452	370,238	2,439,142
正職員人件費 (B)		千円	7,223	20,842	20,946	14,083
総事業費 (A+B)		千円	109,074	66,294	391,184	2,453,225

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別第二小学校校舎改築工事</li> <li>・江別太小学校校舎屋体改築工事</li> <li>・江別第一中学校校舎改築工事</li> <li>・非構造部材耐震調査等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別第二小校舎改築工事等 487,018千円</li> <li>・江別太小校舎屋体改築工事等 1,062,015千円</li> <li>・江別第一中校舎改築工事等 874,186千円</li> <li>・非構造部材耐震調査等 15,923千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度には江別第二小学校の新校舎が完成し、江別太小学校と江別第一中学校の改築工事に着工する。校舎改築を行い、市内小中学校の耐震化を進めていく。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：スクールバス運行委託等経費

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	遠距離通学が必要な児童生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	登下校の予定時間に合わせ、委託先のバス会社がスクールバスを運行し、児童生徒を送迎する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	遠隔地から学校までの間、安全に通学できる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	154	144	148	141
対象指標 2						
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	7,378	7,027	7,500	7,500
活動指標 2	利用児童生徒数	人	154	144	148	141
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	32,177	32,269	42,922	47,156
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,564
総事業費 (A+B)		千円	33,381	33,471	44,130	48,720

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	スクールバスの運行。	・小学校 12,333千円 ・中学校 34,823千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市中学校文化連盟（中文連） 江別市中学校体育連盟（中体連）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校体育連盟及び江別市中学校文化連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各種大会や発表会に参加する経費等を補助することにより、中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	4,071	3,989	3,970	3,901
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	11,096	11,416	11,030	11,030
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	3,313	3,156	3,156	3,155
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	11,096	11,416	11,030	10,739
正職員人件費 (B)		千円	803	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	11,899	13,019	12,641	12,304

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	中文連、中体連の各種大会や発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会や発表会 ・中文連の吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内大会、管内大会、北海道大会、全国大会	中体連参加補助金 8,344千円 中文連参加補助金 2,395千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				

事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内在住の高校生									
手段（事務事業の内容、やり方）									
高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内在住の高校生数	人	4,514	4,406	4,724	4,585
対象指標 2						
活動指標 1	奨学資金申請者数	人	11	17	17	18
活動指標 2						
成果指標 1	奨学資金貸与認定者数	人	11	15	17	18
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,825	2,311	2,749	2,365
正職員人件費 (B)		千円	3,210	3,206	3,222	3,130
総事業費 (A+B)		千円	5,035	5,517	5,971	5,495

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	奨学資金の貸与	貸付金 2,208千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止 その他				

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内小中学校児童生徒の保護者
手段（事務事業の内容、やり方）	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に助成し、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	就学援助認定者数	人	2,416	2,398	2,387	2,215
活動指標 2						
成果指標 1	就学援助認定率	%	24.1	24.7	25.1	23.9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	218,489	217,809	229,395	220,351
正職員人件費 (B)		千円	9,631	9,619	9,667	9,388
総事業費 (A+B)		千円	228,120	227,428	239,062	229,739

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する。	就学援助に必要な経費 220,351千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援学級通学付添費

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校の特別支援学級等の児童生徒の保護者。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
公共交通機関又は自家用車で付添いをしている保護者に対し、経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
通学の付添をする児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級等の児童生徒の保護者数	人	138	152	165	172
対象指標 2						
活動指標 1	通学付添費認定者数	人	67	53	85	68
活動指標 2						
成果指標 1	特別支援支援学級等通学付添費認定率	%	48.6	34.9	51.5	39.3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,073	1,507	2,702	2,062
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	782
総事業費 (A+B)		千円	3,277	2,709	3,910	2,844

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	通学付添費の一部を補助	通学付添費：2,062千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

  

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内に私立高校を設置する学校法人
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色ある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	9	9	9	9
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	6,401	6,401	6,403	6,391

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内私立高校に対し補助金を支出。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育を実践するための事業への補助金</li> <li>教材教具の整備事業への補助金</li> <li>その他教育委員会が必要と認める事業への補助金 6,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子どものための読書環境整備事業（地域活動支援事業）

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内在住の子ども									
手段（事務事業の内容、やり方）									
子どもの読書環境の充実を図るために、児童文学や絵本、紙芝居、総合学習に役立つような調べ学習の資料などを揃え貸出す。また、図書館や学校・地域などで読み聞かせのボランティアをしている人たちが活用できる、エプロンシアター・パネルシアター・大型絵本・紙芝居なども充実させ貸出しする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
より多くの子どもたちが図書館を利用して、本に親しんでもらう。本等を読むことによって、色々な知識を習得してもらい、読み聞かせなどのボランティア等を通して、子どもに本の楽しさを知ってもらい、ボランティア団体・個人の活動の活性化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内在住の子ども的人数	人	16,138	15,745	15,745	0
対象指標 2						
活動指標 1	児童書等の冊数	冊	104,196	103,708	104,000	0
活動指標 2	団体登録数	団体	195	211	210	0
成果指標 1	児童書等の利用冊数	冊	247,409	238,877	250,000	0
成果指標 2	特別貸出及び団体貸出の冊数	冊	19,192	24,286	21,000	0
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	562	1,202	1,611	0
総事業費 (A+B)		千円	562	1,202	1,611	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	平成26年度から、429「図書館資料等整備事業」に統合して評価を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他		○		

事業名：子どもを見守る地域ふれあい事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
青少年の健全育成を目的とする市内の団体およびこれらの団体で組織する実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
青少年の健全育成を目的とする市内の団体およびこれらの団体で組織する実行委員会が学校、PTA、地域が協働して取り組む事業（①非行防止等子どもの安全を守る地域活動②地域の持つ教育力を活かす交流活動③子どもの体験不足を補う体験学習活動④子どもと共に地域住民が取り組むボランティア活動など）に対し、「江別市基金条例」並びに「江別市ふるさとふれあい推進基金の運用について」に基づき事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域ぐるみで子どもを育てる意識が向上し、子どもを取り巻く環境が充実するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	補助金の交付団体数	団体	8	5	6	6
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	200	200	200	200
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	2,890	1,497	1,500	1,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	200	200	200	200
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	601	601	603	591

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、PTA、地域などが実践する下記事業に対して補助金を支出</li> <li>①非行防止等子どもの安全を守る地域活動</li> <li>②地域の持つ教育力を活かす交流活動</li> <li>③子どもの体験不足を補う体験学習活動</li> <li>④子どもと共に地域住民が取り組むボランティア活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域巡視活動費補助 20千円</li> <li>交流活動費補助 40千円</li> <li>体験学習活動費補助 50千円</li> <li>地域ボランティア活動費補助 90千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区子ども会）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動の提供、地域の各育成会の支援並びに、親子のふれあいのための普及活動や研修活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
青少年の健全育成を図ることを目的とした各地区子ども会事業への参加者数が増え、活動が活発化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	878	878	878	878
活動指標 2						
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	343	372	330	330
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	39	36	40	40
事業費 (A)		千円	878	878	878	878
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	3,286	3,283	3,295	3,225

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>相撲大会の開催</li> <li>青少年キャンプ村への協力</li> <li>ジュニアリーダー養成事業への協力</li> <li>小中学生かるた大会の開催</li> <li>各地区青少年育成会との連携と協力</li> <li>会議等の開催</li> <li>活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	子ども会への補助 878千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性		改革方向性（成果）	減少	維持	増加
				○	
維持		向上			
見直し		維持		○	
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					



事業名：ジュニアリーダー養成事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小学5年生～高校3年生									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体活動の楽しさや規範性を身に付けるとともに、地域の子どものリーダーとしての知識や技術を習得するための講習会を実施する。</li> <li>・管内、北海道主催のジュニアリーダー養成講座等への参加を促進する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域に対する理解と愛着を感じるようになるとともに、地域における子どものリーダーとしての指導力が備わるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内小学5年生～高校3年生の数	人	11,102	10,934	10,214	9,995
対象指標 2						
活動指標 1	講習会開催回数	回	2	2	3	2
活動指標 2						
成果指標 1	参加者数（市開催）	人	17	39	25	25
成果指標 2	参加者数（管内・北海道主催）	人	23	10	8	8
事業費 (A)		千円	60	64	113	120
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	1,264	1,266	1,321	1,294

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・秋季に自然体験、防災教育等の内容で養成講習会を開催	講習会講師謝礼 57千円 ジュニアリーダー認定グッズ等 21千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
成人のつどい実行委員会 新成人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人が大人になったことを自覚してもらう場を提供するため、新成人となる実行委員を募集し、内容などを企画したつどいを実施する。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市成人のつどい実行委員会に対してアトラクション出演謝礼、交歓会景品など成人のつどい開催に要する経費について補助金を支出する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「成人のつどい」への参加を契機に、公民としての権利と義務を再認識し、自律ある社会人として自覚するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	9	7	9	9
対象指標 2	新成人数	人	1,633	1,568	1,515	1,539
活動指標 1	補助金額	千円	240	220	220	220
活動指標 2						
成果指標 1	成人のつどい参加者数	人	1,111	1,044	1,009	1,077
成果指標 2	参加率	%	68	66.6	66.6	70
事業費 (A)		千円	416	478	493	493
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	2,021	2,081	2,104	2,058

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の募集</li> <li>・実行委員会の開催</li> <li>・成人対象者の抽出</li> <li>・案内ハガキの作成、発送</li> <li>・しおり、封筒などの作成</li> <li>・成人のつどい（式典・交歓会など）の開催</li> <li>・活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	成人のつどいプログラム等印刷費 74千円 会場使用料 123千円 実行委員会への補助 220千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 発明教室開設事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
少年少女発明クラブ									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集し、専任指導員のもとのづくり教室を開講する。</li> <li>・夏休みと冬休みに作品展を開催し、製作の楽しさや喜びを味わう機会とする。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、発明教室を円滑に運営する江別市少年少女発明クラブに対して、補助金を支出する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
発明教室に参加することにより、科学技術への関心を高め、想像力を養うことと、集団活動や体験学習の経験を通して、豊かな創造性を身に付ける。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	581	581	581	695
活動指標 2	開催回数	回	29	20	38	38
成果指標 1	作品展等応募、出品数（市内、全道、全国）	件	28	58	50	50
成果指標 2	延べ活動人数	人	660	512	600	600
事業費 (A)		千円	581	581	581	581
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	1,785	1,783	1,789	1,755

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月から1月：製作教室</li> <li>・ 8月・9月：体験教室</li> <li>・ 夏冬休みの特別教室</li> <li>・ 夏冬の作品展示会</li> <li>・ 活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	発明教室実施団体への補助 581千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果） 向上 維持 低下	減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規				○	
休止					

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市青少年のための市民会議
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動並びに有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき活動費の一部を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市民会議の活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上するようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民会議の会員数（個人）	人	264	236	253	236
対象指標 2	市民会議の会員数（団体）	団体	61	60	60	60
活動指標 1	補助金額	千円	229	129	129	129
活動指標 2						
成果指標 1	主催事業協力者数	人	93	95	85	85
成果指標 2	非行防止標語応募件数	件	769	1,141	1,100	3,270
事業費 (A)		千円	229	129	129	129
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	1,834	1,732	1,740	1,694

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成・非行防止標語募集</li> <li>・少年主張石狩大会への参加</li> <li>・有害環境の点検巡回</li> <li>・青少年リーダー養成事業への参加</li> <li>・青少年善行賞の選定、表彰</li> <li>・会議等の開催 など</li> <li>・活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	市民会議への補助 129千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小学校4年生から中学校3年生の児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を開設し1泊2日の日程で、大学生、高校生のボランティアサークルのリーダーの指導によりキャンプを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢の交流と集団生活を通して規律のある生活態度・生活技術を学び子どもたちの協調性、社会性を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童および生徒数	人	7,428	7,326	6,529	6,373
対象指標2						
活動指標1	キャンプ村開催日数	日	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	参加グループ数	グループ	98	121	125	125
成果指標2	青少年キャンプ村参加人数	人	536	686	700	700
事業費(A)		千円	826	821	879	874
正職員人件費(B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費(A+B)		千円	2,833	2,825	2,893	2,830

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・7月下旬から8月上旬に森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を開設し1泊2日の日程で、大学生、高校生のボランティアサークルのリーダーの指導によりキャンプを行う。	生活指導員謝礼 336千円 テント購入費 416千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他		低下		

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
小学生以上24歳以下の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
各種コンクール等において優秀な成績をおさめる等、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
創造性豊かな芸術、文化に対する意識を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	23,351	22,953	22,286	22,286
対象指標 2						
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	受賞者数	人	29	13	11	11
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	478	215	188	188
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	1,682	1,417	1,396	1,362

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	教育機関、文化団体等に対し該当者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴、コンクールの内容等を精査し庁議において審議の上、表彰者を決定する。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。	楯代188千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		向上	○	
見直し				
新規				
休止		低下		
廃止				
その他				

事業名：問題行動対策事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子ども家庭課、警察などで構成する江別市指導連絡会などにより関係機関の連携を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,772	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	490	447	490	440
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	17	17	17
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	50	38	50	40
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,414	6,382	6,663	6,619
正職員人件費 (B)		千円	4,816	3,206	3,625	5,868
総事業費 (A+B)		千円	11,230	9,588	10,288	12,487

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回街頭指導の実施</li> <li>祭典巡回指導の実施</li> <li>江別市指導連絡会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員等報酬 6,064千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：いじめ・不登校対策事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・不登校の専用窓口を開設し、専任指導員が電話、面接相談に対応する。</li> <li>青年センターに臨床心理士を配置し、カウンセリングにあたる。</li> <li>不登校児童生徒を対象に、子ども家庭課とタイアップし、体験活動を主としたケア事業のほか、学習活動を主としたスポットケア事業を実施する。</li> <li>いじめ問題について、児童生徒が直接市教委へ訴える心のダイレクトメール事業を実施する。</li> <li>いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。</li> <li>ネットパトロールを実施する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめが解消される。</li> <li>不登校の児童生徒が再登校できるようになる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,772	9,503	9,274
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	78	82	80	80
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	64	54	55	55
活動指標 2	スポットケア・ケア事業開催回数	回	48	46	47	47
成果指標 1	いじめの解消率	%	100	99	100	100
成果指標 2	再登校率	%	21	20	25	25
事業費 (A)		千円	3,102	3,109	3,318	3,477
正職員人件費 (B)		千円	6,020	4,409	4,431	6,650
総事業費 (A+B)		千円	9,122	7,518	7,749	10,127

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・不登校電話相談窓口開設。</li> <li>臨床心理士による教育相談を実施。</li> <li>不登校児童生徒を対象に、ケア事業及びスポットケア事業を実施。</li> <li>心のダイレクトメール事業を実施。</li> <li>中学生サミットの開催。</li> <li>ネットパトロールの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員報酬等 2,549千円</li> <li>心のダイレクトメール事業経費 41千円</li> <li>中学生サミット開催経費 241千円</li> <li>ネットパトロール経費 646千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	市内中学校を対象として実施しているネットパトロールを、小学校に拡大する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						



事業名：「心の教室」相談事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・相談員（カウンセリング講座修了者や教員経験者など相談業務に携わった経験者）を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	相談員配置学校数	校	20	20	19	19
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,253	5,257	5,460	5,570
成果指標 1	延べ相談件数	件	14,802	15,377	14,000	15,370
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,521	5,403	5,550	5,660
正職員人件費 (B)		千円	803	401	403	1,565
総事業費 (A+B)		千円	6,324	5,804	5,953	7,225

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・小学校19校に心の教室相談員13名を配置し、児童、保護者、教育関係者の悩みや相談に対応する。	・心の教室相談員報酬 5,570千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：ヤング・子育て電話相談事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	子育てテレホンとヤングテレホンを開設し、専門員による相談事業を実施する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	相談することによる悩み・不安の軽減、解消。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	テレホン相談開設日数	日	243	244	244	244
活動指標 2	相談員数	人	13	12	15	12
成果指標 1	子育てテレホン相談件数	件	26	17	18	18
成果指標 2	ヤングテレホン相談件数	件	418	432	380	380
事業費 (A)		千円	907	891	927	951
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	782
総事業費 (A+B)		千円	2,111	2,093	2,135	1,733

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員による下記の電話相談を実施。</li> <li>子育てテレホン：午前10時から正午まで</li> <li>ヤングテレホン：午後1時から午後5時まで</li> </ul> いずれも国民の祝休日を除き、毎週月曜日から金曜日まで	相談員謝礼 732千円 相談員研修旅費 43千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性		改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持		向上			
見直し		維持	○		
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内市立小・中学校									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	28	28	27	27
対象指標 2						
活動指標 1	事業実践項目数	項目	40	39	40	39
活動指標 2						
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	6,040	6,442	5,000	6,400
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,079	3,092	3,241	3,222
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	4,684	4,695	4,852	4,787

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の謝礼等 606千円</li> <li>・消耗品購入費 2,022千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スクールカウンセラー事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・小中学校にカウンセラー（臨床心理士）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	配置学校数	校	10	10	9	9
活動指標 2	延べ相談時間	時間	1,131	1,342	1,080	1,080
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,352	1,555	1,350	1,550
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	89	89	81	81
正職員人件費 (B)		千円	803	401	403	1,565
総事業費 (A+B)		千円	892	490	484	1,646

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・中学校8校、小学校1校にスクールカウンセラー5名を配置し相談業務に当たる。	・配置校消耗品 81千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）					
26年度への改善方向性		減少	維持	増加			
維持							
見直し							
新規							○
休止							
廃止 その他							
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下			

事業名：小学校外国語活動支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいえづくり				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小学校の児童									
手段（事務事業の内容、やり方）									
小学校における「外国語活動」など国際化に対応した授業を支援し、児童の基礎的・実践的な英語能力の向上のため、外国語指導助手を派遣する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
外国人とのコミュニケーションをとる機会を提供することにより、英語に慣れ親しむとともに、児童の基礎的・実践的コミュニケーション能力（聞く・話す）の向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内公立小学校の児童数	人	6,397	6,194	6,073	5,913
対象指標 2						
活動指標 1	小学校外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	3,019	3,010	2,520	3,383
活動指標 2						
成果指標 1	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	13,846	14,979	15,364	20,900
正職員人件費 (B)		千円	2,809	3,206	3,222	3,912
総事業費 (A+B)		千円	16,655	18,185	18,586	24,812

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	児童の基礎的・実践的な英語能力の向上のため、小学校に外国語指導助手を派遣する。	外国語活動指導助手派遣費用 20,900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	小学校の外国語活動の授業をこれまでの5・6年生に加え、3・4年生にも拡大することで、基礎的な英語能力の向上を図る。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
文化・芸術など多岐にわたる分野の中から秀でた社会人を幅広く募り、各教科の授業の中で講師として活用する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童生徒の学習意欲や興味等を向上させるとともに、将来設計意識や職業観等の育成を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	12	11	27	27
活動指標 2						
成果指標 1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	12	11	27	27
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	430	377	898	700
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	1,233	1,179	1,704	1,482

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から秀でた社会人を幅広く募り、授業や各種教育活動の講師として活用する。	社会人講師派遣費用 700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：特別支援教育推進事業

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
支援員（特別支援教育補助員外）の配置、専門家チームの巡回相談等による学校や保護者への助言、研修会の開催による教員や補助員の能力向上及び保護者の理解啓発、その他環境整備等を通じて、支援を行なう									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
教員が児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて長期目標・短期目標を盛り込んだ個別の教育計画に沿って、適切な教育を行うことにより、対象児童生徒が生活や学習上の困難を改善・克服する									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	312	327	327	327
対象指標 2						
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	67	79	102	79
活動指標 2	支援員（特別支援教育補助員）の配置数	人	14	15	17	18
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	60.7	64.2	65	65
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	17,917	24,641	23,327	28,875
正職員人件費 (B)		千円	6,020	6,012	6,042	5,868
総事業費 (A+B)		千円	23,937	30,653	29,369	34,743

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別支援教育補助員外）の配置</li> <li>巡回相談員等の謝礼</li> <li>教育環境整備工事（シャワー室設置等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員（特別支援教育補助員外）報酬：22,004千円</li> <li>巡回相談員等の謝礼：474千円</li> <li>教育環境整備工事（シャワー室設置等）：3,466千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性		減少	維持	増加	
維持		向上			
見直し			維持		○
新規			低下		
休止					
廃止 その他					

事業名：キャリア教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立中学校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
連続3日間、生徒が事業所において職場体験する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
望ましい勤労観や職業観、自己の進路を選択する能力のほか、人間関係形成能力、コミュニケーション能力を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	市内公立中学校の生徒数	人	3,645	3,528	3,430	3,361
対象指標2						
活動指標1	職場体験受け入れ事業所数	所	87	92	100	110
活動指標2						
成果指標1	原則連続3日間のキャリア教育参加生徒数	人	486	566	818	935
成果指標2	自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	61	71	70	70
事業費(A)		千円	309	287	582	679
正職員人件費(B)		千円	2,007	3,206	3,222	3,130
総事業費(A+B)		千円	2,316	3,493	3,804	3,809

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内公立中学校の生徒が事業所において連続3日間の職場体験を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナー研修経費 154千円</li> <li>職場体験実施にかかる経費 525千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	実施校を6校から7校に増やす。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小・中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	食器更新・追加数	個	2,700	13,600	11,000	0
活動指標 2	検討委員会開催数	回	2	4	2	0
成果指標 1	食器破損率	%	6.39	5.49	5.49	5.49
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内小中学校に学習サポート教員等を派遣し、担当の教師と共に、授業中や長期休業中などの学習支援を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童生徒の勉学意欲が向上し、確かな学力の定着を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	38	35	37	39
活動指標 2	学校支援地域本部ボランティアの登録人数	人	0	0	0	43
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣人数	人	38	35	37	39
成果指標 2	学校支援地域本部ボランティアの年間派遣人数	人	0	0	0	43
事業費 (A)		千円	6,036	8,133	8,197	9,317
正職員人件費 (B)		千円	2,408	3,206	3,222	3,130
総事業費 (A+B)		千円	8,444	11,339	11,419	12,447

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業等の学習支援</li> <li>長期休業期間（夏季及び冬季）の補充的な学習の支援</li> <li>中学校における放課後の補充的な学習の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援地域本部運営経費 1,739千円</li> <li>学習サポート教員派遣経費 7,578千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	中学校における放課後の補充的な学習を新たに開始し、学習サポート教員等を派遣する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：子どものための読書環境整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の子どもとボランティア									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、学校への司書配置（巡回）を行う。</li> <li>・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。</li> <li>・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内小中学校数	校	27	27	27	27
対象指標 2						
活動指標 1	司書配置学校数	校	2	6	15	9
活動指標 2						
成果指標 1	司書配置によって増加した貸出冊数	冊	2,907	2,042	6,000	5,000
成果指標 2	司書配置期間のボランティア活動回数	回	33	81	40	40
事業費 (A)		千円	3,955	3,839	5,149	5,264
正職員人件費 (B)		千円	642	802	1,208	2,738
総事業費 (A+B)		千円	4,597	4,641	6,357	8,002

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書による学習支援</li> <li>・支援司書による学習支援</li> <li>・学校司書による学校図書館の環境整備への支援</li> <li>・学校図書館ボランティアとの協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬（学校司書3人、支援司書1人） 4,977千円</li> <li>・団体貸出用図書、朝読書・調べ学習用図書購入費 100千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		向上		
見直し				
新規				
休止		低下		○
廃止				
その他				

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。 栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	3	2	1
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	336	329	336	336
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	83.1	84.4	84.4	84.4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	3,210	3,206	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	3,210	3,206	1,611	1,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいえつづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
体力向上のための調査研究や実践を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童生徒の体力・運動能力の現状を把握し、学校における体育・健康に関する指導の充実及び児童生徒の体力向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数	回	40	39	38	38
活動指標 2						
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合	%	71	67	70	70
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	420	420	680	636
正職員人件費 (B)		千円	1,605	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	2,025	2,825	3,097	2,983

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に実施する体力向上のための取り組みを行い、その効果と検証を行う。</li> <li>江別市体力向上「朝運動プログラム」事業普及のための出前授業を市内小学校にて行う。（平成25年度から開始）</li> </ul>	北翔大学への委託料 636千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：特別支援教育就学奨励費

学校教育支援室参事（特別支援教育）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
特別支援教育就学奨励費が必要な保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
経済的な理由で児童生徒の就学に必要な経費を捻出することが困難な保護者を助成することにより、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室等に通学する児童生徒の保護者	人	211	222	257	232
対象指標 2						
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	118	110	146	147
活動指標 2						
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	55.9	49.5	56.8	63.3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,652	3,713	4,940	5,161
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,348
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>6,060</b>	<b>6,118</b>	<b>7,357</b>	<b>7,509</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費</li> <li>修学旅行費</li> <li>学用品費 等の一部補助</li> </ul> ※「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき市支出（補助対象経費）の2分の1が補助される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費（小学校：1,398千円、中学校：814千円）</li> <li>修学旅行費（小学校：101千円、中学校：301千円）</li> <li>学用品費（小学校：327千円、中学校：303千円）</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：スクールソーシャルワーカー事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ</li> <li>・学校や関係機関との連携や調整</li> <li>・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒、保護者の抱える問題が解決される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,274
対象指標 2						
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	2	2	2	2
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	215	618	700	700
成果指標 1	支援ケース件数	件	18	30	20	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,219	4,483	4,464	4,464
正職員人件費 (B)		千円	1,605	802	806	1,565
総事業費 (A+B)		千円	4,824	5,285	5,270	6,029

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・スクールソーシャルワーカーが、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、問題を抱える児童生徒に対して相談支援を行う。	・スクールソーシャルワーカー報酬 4,392千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： 中文連・中体連負担金補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市中学校文化連盟（中文連） 江別市中学校体育連盟（中体連）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
心身の健やかな発達をめざし、各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	4,071	3,989	3,970	3,901
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,262	1,237	1,469	1,444
活動指標 2						
成果指標 1	中体連・中文連大会開催数	回	18	17	16	17
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,262	1,237	1,469	1,444
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	2,065	2,039	2,275	2,226

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	・市内中学校体育連盟負担金 1,054千円 ・市内中学校文化連盟負担金 390千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：全国中体連体操競技支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成27年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	全国中体連体操競技の江別市準備（実行）委員会
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、全国中体連体操競技の江別市準備委員会に対し、必要経費の一部を補助する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は準備委員会に対する支出</li> <li>・平成27年度は実行委員会に対する支出</li> <li>・成果（大会の円滑な実施）は平成27年度に表れる</li> </ul>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	中学生体育活動の振興を図る

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	全国中体連体操競技の江別市準備（実行）委員会数	箇所	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	0	1,500
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,500
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	782
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,282

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	中学校体操競技の全国大会が当市で開催されるにあたり、その準備・運営に係る経費の一部を補助する <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間 平成27年8月中旬（予定）</li> <li>・開催場所 野幌総合運動公園</li> </ul>	準備委員会への補助金 1,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上		○
見直し			維持		
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業 総務課 施設係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
H28年4月に統合する江小・三小統合校が使用する校舎									
手段（事務事業の内容、やり方）									
三小の現校舎位置に新校舎を建設するために、実施設計、プール解体、仮設校舎建設、既設校舎解体、改築工事、外構工事を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
統合に向けて、教室不足の解消、耐震化されていない校舎の改築を行う。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	統合校の校数	校	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	事業費	千円	0	0	0	305,000
活動指標 2						
成果指標 1	改築した学校数	校	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	305,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	9,389
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	314,389

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	校舎改築・外構実施設計、仮設校舎建設、既設三小プール解体を行う。	校舎改築実施設計等 委託料 67,000千円 仮設校舎建設工事等 工事費 238,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公民館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、地域に密着した社会教育の中心施設となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	78,640	78,894	78,619	89,483
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	218,389	220,783	220,000	220,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	79,054	80,150	80,544	91,383
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	81,462	82,555	82,961	93,730

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設及び物品の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 89,483千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
情報図書館	
手段（事務事業の内容、やり方）	
情報図書館の運営管理に要する経費	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。</li> <li>・施設が適切に運営管理される。</li> </ul>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	年間開館日数（全館）	日	293	292	291	292
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	66,265	64,277	66,068	69,259
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	220,084	210,761	208,900	207,900
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	905,392	883,742	898,300	893,900
事業費 (A)		千円	66,265	64,277	66,068	69,259
正職員人件費 (B)		千円	27,288	32,866	33,030	32,078
総事業費 (A+B)		千円	93,553	97,143	99,098	101,337

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	情報図書館の運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤・臨時職員人件費 38,728千円</li> <li>・燃料・光熱水費 11,199千円</li> <li>・清掃等施設管理委託料 15,660千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び市内に通勤・通学している人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。</li> <li>・月1回選書会議を行い購入する図書を選定する。</li> <li>・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、図書資料等に対する市民の関心が高まり、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	資料購入冊数	冊	12,319	10,849	10,000	10,600
活動指標 2						
成果指標 1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	7.4	7.3	7.4	7.4
成果指標 2	予約及びリクエスト件数	件	90,818	94,162	82,000	96,000
事業費 (A)		千円	21,600	22,050	22,050	22,050
正職員人件費 (B)		千円	2,809	3,607	3,625	3,521
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>24,409</b>	<b>25,657</b>	<b>25,675</b>	<b>25,571</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料の整備に係る経費	雑誌・新聞・その他逐次刊行物購入費 3,700千円 図書資料購入費 18,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、447「子どものための読書環境整備事業（地域活動支援事業）」を統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
旧町村農場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	6,738	6,738	6,738	6,931
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	9,372	11,946	8,000	8,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,825	7,453	7,080	7,221
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	8,832	9,457	9,094	9,177

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 6,931千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：体験・ボランティア活動支援センター運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市体験活動・ボランティア活動支援センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市体験活動・ボランティア活動支援センター会議を開催し、体験活動事業を企画する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域・学校・家庭と連携し、地域教育力の向上を図る活動を行う。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	コーディネーター数	人	9	8	10	10
対象指標 2						
活動指標 1	センター会議開催回数	回	5	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	コーディネーター活動延回数	回	55	44	80	80
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	125	87	173	173
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	1,329	1,289	1,381	1,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動・ボランティア活動センター会議開催</li> <li>地域・学校・家庭が連携した体験活動事業の企画</li> <li>当センター以外が実施する体験活動事業への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動センターコーディネーター謝礼等 155千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別市女性団体協議会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市女性団体協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域コミュニティ醸成等の地域活動を行う団体の事業運営（江別市女性大会の開催、機関紙の発行、リーダー研修会、女性協まつり等女性団体の活動及び共通課題解決のための連絡提携など）の活動支援に係る補助金の交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
男女共同参画の推進や地域コミュニティ醸成等の地域活動を行う団体の活性化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	協議会加盟団体数	団体	20	20	20	0
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	465	500	400	0
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,266	1,258	1,300	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	465	500	400	0
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	0
総事業費 (A+B)		千円	1,268	1,302	1,206	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から（6156）「社会教育団体支援事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						



事業名：江別市PTA連合会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市PTA連合会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
教育的課題解決等の活動を行う団体の事業運営（江別市PTA連合会総会、研究大会の開催や児童生徒の健全育成のための研修活動の推進等、共通課題解決のための連絡提携などの活動）に対する補助金の交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
教育的課題の解消や地域コミュニティ醸成等の地域活動を行う団体の活性化を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	会員数	人	9,014	8,731	8,731	0
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	368	468	368	0
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	546	737	500	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	368	468	368	0
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	0
総事業費 (A+B)		千円	1,171	1,270	1,174	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度からは、(6156)「社会教育団体支援事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：学社融合（地域間交流・体験活動）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学生</li> <li>・地域住民</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域・学校・家庭と連携を図りながら、地域間や異世代との交流による体験活動を、子どもたちに提供する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、地域・学校・家庭が連携することにより、教育力の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,503	9,441
対象指標 2						
活動指標 1	実施事業数	事業	5	5	5	4
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	303	144	500	160
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	478	323	435	386
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,485	2,327	2,449	2,342

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	体験活動事業の実施	学社融合事業開催にかかる経費 386千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
20歳以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者パソコン教室等の開催</li> <li>・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日）</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	20歳以上の市民	人	99,714	99,908	99,785	99,785
対象指標2						
活動指標1	各種パソコン講習会開催数	回	49	47	62	62
活動指標2	インターネット体験の実施日数	日	46	50	50	50
成果指標1	各種パソコン教室受講者数	人	394	340	620	620
成果指標2	コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	3,485	3,339	3,200	3,186
事業費(A)		千円	152	192	244	405
正職員人件費(B)		千円	4,816	5,611	5,639	5,477
総事業費(A+B)		千円	4,968	5,803	5,883	5,882

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	初心者PC教室 49回 EPOC講習会 12回 はじめてのパソコン講習会 1回	パソコンボランティア謝礼等 74千円 コンテンツフィルタリング保守費用 162千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	現在、コンピュータ学習室は江別市のサーバーを経由してインターネットに接続している。このため、インターネットのコンテンツフィルタリングの規制が強く、情報の検索の際に不便が生じている。 今回、回線を別途設置し、フィルタリングを独自設定することで利用者の学習の利便性向上を図る。	減少	維持	増加	
維持					
見直し				○	
新規					
休止 廃止 その他					

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
展示会を開催することにより、図書館への関心が高まり、より多くの市民が図書館の活動に関心を持ち足を運ぶようになる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	展示会開催数	回	3	4	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	展示室入場者数	人	980	1,344	900	1,100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	57	110	100	100
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	1,662	1,713	1,711	1,665

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「星のおはなし」展の開催（星に関する本を展示するほか、天体観測や望遠鏡工作を実施）</li> <li>・「しかけ絵本・大型絵本」展の開催（普段書架には出さない貴重な絵本を展示、そのしかけ絵本を使用しおはなし会を開催）</li> <li>・「市制施行60周年」展の開催（市制施行60周年に合わせ、江別の市史に関する資料を展示）</li> <li>・「小さな絵本作り講習会」開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示物件の借用謝礼 20千円</li> <li>・展示会開催経費 55千円</li> <li>・絵本作り開催経費 17千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：家庭教育（青空子どもの広場）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の3～5歳児とその親
手段（事務事業の内容、やり方）	青空子どもの広場を開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	子どもは豊かな心や協調性を、保護者はしつけのあり方や家庭教育について学び、教育力が向上する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	3～5歳児の市民の数	人	2,635	2,540	2,540	2,487
対象指標 2						
活動指標 1	事業開催回数	回	51	44	51	51
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,328	1,074	1,100	1,100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	652	588	694	694
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,659	2,592	2,708	2,650

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	青空子どもの広場市内5地区（1地区10回）で開催。絵本の読み聞かせやリズム体操、子育てに関係した講演会等を実施。	・青空子どもの広場開催に係る経費 694千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：聚楽学園

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
蒼樹大学を卒業した市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒼樹大学等を卒業した学生による自主運営の8年制。卒業後の聴講生制度あり。</li> <li>・5月～3月まで毎月1回定例学習会を開催。希望者は選択別に専攻講座を月1回受講</li> <li>・野外研修（日帰り）、研修旅行（1泊2日）、学園祭などの特別行事の開催</li> <li>・年度末に記録文集を発行</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・高齢者ひとり一人が自立と連帯の精神に満ちた豊かで活力のある生活の維持を図るとともに、異世代間の交流、仲間づくりを促進し、習得した知識や技術経験を活かした地域社会への参画を促進する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	蒼樹大学を卒業した67歳以上の市民数	人	56	48	49	0
対象指標 2						
活動指標 1	講座等開催数	回	63	54	53	0
活動指標 2						
成果指標 1	学生数	人	406	415	424	0
成果指標 2	出席率	%	67	69	66	0
事業費 (A)		千円	677	756	770	0
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	0
総事業費 (A+B)		千円	2,684	2,760	2,784	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6156)「社会教育団体支援事業」に統合して評価を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性(成果)

向上  
維持  
低下

○

事業名： 蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
65歳以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
蒼樹大学を開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民の数	人	27,827	28,949	28,949	30,240
対象指標 2						
活動指標 1	講座開催数	回	62	62	62	62
活動指標 2						
成果指標 1	学生数	人	139	137	137	137
成果指標 2	出席率	%	84	86	80	80
事業費 (A)		千円	590	641	665	665
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,597	2,645	2,679	2,621

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者学級である蒼樹大学を開催する。</li> <li>・ 5～3月間に毎月1、2回学習会を開催。午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、午後は選択制の専攻講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒼樹大学開催に係る費用 665千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
学校、社会教育関係団体等および一般市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターなどの機器は、学校や社会教育関係団体等からの申請により貸出する。</li> <li>・ビデオソフトなどの教材は、個人へも貸出しを行っている。</li> <li>・視聴覚教育に必要な機器と教材の充実を図るとともに、活用を奨励するために、毎月「図書館だより」と「じどうしつだより」を発行し、小中学校、幼稚園、保育園などに送付している。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や社会教育関係団体等が視聴覚教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。</li> <li>・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	18	18	18	18
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,045	2,131	2,037	2,037
成果指標 1	利用者数	人	3,117	3,014	3,500	3,100
成果指標 2	貸出件数	回	2,963	2,871	3,000	3,000
事業費 (A)		千円	703	613	864	686
正職員人件費 (B)		千円	3,210	4,008	4,028	3,912
総事業費 (A+B)		千円	3,913	4,621	4,892	4,598

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸し出し及び、個人へのビデオソフト等の貸出を行う。	貸出用教材購入費 650千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止 その他				



事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会、各種講演会などの開催。</li> <li>・ボランティア支援のための講習会等の実施。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。</li> <li>・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	図書館主催おはなし会など開催回数	回	342	314	320	320
活動指標 2						
成果指標 1	読書普及事業の参加人数	人	4,636	4,330	4,200	4,200
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	441	420	513	496
正職員人件費 (B)		千円	803	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	1,244	2,023	2,124	2,061

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館及び分館でのおはなし会の開催。</li> <li>・子どもの読書週間に合わせた講演会の開催。</li> </ul>	おはなし会等講師謝礼 400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：生涯学習団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市生涯学習推進協議会
手段（事務事業の内容、やり方）	・生涯学習の推進のための活動を行う団体の事業運営（市民主体の団体育成、学習支援のための講座や会員活動発表会の開催、情報誌の発行、HPの運営等）に対し補助金を交付する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	生涯学習社会の実現に向け推進活動を行う団体の活性化を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	協議会会員数	団体	68	67	68	0
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	0
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,699	4,282	1,850	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,000	1,000	1,000	0
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	0
総事業費 (A+B)		千円	2,204	2,202	2,208	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6156)「社会教育団体支援事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
社会教育の振興・発展を目的とする市内の団体及びこれらの団体で組織する実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
社会教育事業や音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
独立して活動を行い、社会教育の充実が促進される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	地域交流活動補助対象事業数	団体	9	4	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	200	180	200	200
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	2,031	656	2,000	2,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	200	180	200	200
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	601	581	603	591

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	社会教育の振興・発展を目的とする市内の団体及びこれらの団体で組織する実行委員会が学校と連携して自主的に企画・運営する社会教育事業や音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流事業実践団体への補助金 200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり		
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり		
				プログラム	② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人財育成の促進		
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	高校生以上の市民
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと江別塾」の開催</li> <li>・えべつ市民カレッジの開催</li> </ul>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	大学の知的資源を活用し市民の様々な学習要求に応えることにより、まちづくりに参画していくための問題意識と知識を獲得する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	高校生以上の市民	人	105,567	105,640	105,640	105,408
対象指標 2						
活動指標 1	連携団体数	回	4	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	0	0	0	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	208	193	214	216
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	2,347
総事業費 (A+B)		千円	1,813	1,796	1,825	2,563

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内四大学と連携を図りながら、各大学を会場とした講座事業「ふるさと江別塾」を開催する。</li> <li>・ふるさと江別塾に加え、各大学で開催している市民公開講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置づけ、総合的に市民へ提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと江別塾開催費 200千円</li> <li>・運営委員会開催経費 16千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	ふるさと江別塾に加え、各大学で開催している市民公開講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置づけ、総合的に市民へ提供する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止 廃止 その他					

事業名：コミュニティセンター管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
コミュニティセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	14,637	14,818	14,636	16,606
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	192,128	172,467	220,000	220,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	14,637	14,818	14,636	16,606
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	16,644	16,822	16,650	18,562

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設及び物品の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 16,606千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
独立して活動を行い、社会教育活動が活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	0	0	0	4
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	円	0	0	0	2,538
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	0	0	0	4,800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,538
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,694
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	7,232

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付	江別市女性団体協議会への補助金 400千円 江別市PTA連合会への補助金 368千円 江別市聚楽学園への補助金 770千円 江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス工芸館</li> <li>・ガラス工芸家</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営</li> <li>・ガラス工芸家の創作活動公開への対応</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、創作工芸の分野における文化の振興に資する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	㎡	242.72	242.72	242.72	242.72
活動指標 1	開館日数	日	60	57	58	58
活動指標 2						
成果指標 1	来館者数	人	1,207	1,590	1,600	1,600
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,703	2,295	2,263	2,469
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	3,506	3,097	3,069	3,251

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	ガラス工芸館の管理運営。	管理運営経費 2,469千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 主査（セラミックアートセンター）

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「れんがとやきもののまち・江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の企画展を開催し、市民に文化アートの鑑賞の場を提供する。</li> <li>・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を頒布し、周知する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの市民（来館者）に利用してもらうことで、「れんがとやきもののまち・江別」のイメージをより広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	企画展開催数	回	2	3	2	3
活動指標 2						
成果指標 1	企画展入場者数	人	5,315	3,354	2,500	3,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,283	5,728	3,032	6,945
正職員人件費 (B)		千円	4,816	4,810	4,834	5,868
総事業費 (A+B)		千円	9,099	10,538	7,866	12,813

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「THE YUNOMI 湯呑茶碗展」ほか計3回の企画展を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯呑茶碗展開催経費 6,678千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	幅広い年齢層を対象とした企画展を開催することにより、陶芸文化に対する関心の底辺拡大を図る。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						



事業名：セラミックアートセンター管理経費 主査（セラミックアートセンター）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
セラミックアートセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。</li> <li>・小森忍および道内作家、れんが資料の収集、展示。</li> <li>・陶芸を中心とした企画展、各種陶芸教室、講座等の適正な管理運営。工房、窯等の貸し出し。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適かつ安全に利用してもらう。</li> <li>・多くの市民に利用してもらうことで、「れんがとやきもののみち・江別」のイメージの共有を図る。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開館日数	日	302	303	304	303
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	40,648	38,613	39,600	38,191
成果指標 1	利用者数	人	23,543	19,982	20,000	20,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	40,647	38,612	39,600	38,191
正職員人件費 (B)		千円	6,822	7,214	7,250	6,259
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>47,469</b>	<b>45,826</b>	<b>46,850</b>	<b>44,450</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラミックアートセンターの管理経費</li> <li>・小森忍および道内作家の作品、れんが資料の収集・展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬及び臨時職員賃金 4,981千円</li> <li>・重油代等燃料費 3,818千円</li> <li>・電気代等光熱水費 5,060千円</li> <li>・保守管理委託経費 20,583千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用し、日本文化に対する理解を深め、子どもの文化芸術活動が拡充する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	15	13	13	13
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	849	860	860	860
活動指標 2						
成果指標 1	開催学校数	校	17	17	17	17
成果指標 2	参加者数	人	814	795	814	814
事業費 (A)		千円	849	860	860	860
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	2,856	2,864	2,874	2,816

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	子どもたちが土曜日をより良く過ごせるよう地域の専門的な指導者及び運営に係るボランティア協力により、市内各小学校の施設を活用し、子どもたちが普段学校で学ぶことの少ない日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する。・市内小学校17ヶ所・月2回土曜日午前中（10回程度／1校）・活動種目囲碁・茶道・華道・手芸・百人一首など20種類程度	補助金860千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民文化ホール									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度による施設の管理運営									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	50,972	51,716	51,537	49,220
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	58,911	56,222	58,000	58,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	51,551	51,877	52,378	50,061
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	53,558	53,881	54,392	52,017

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設及び物品の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 49,220千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略							
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
NPO法人江別市文化協会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	2,500	2,404	2,418	2,418
対象指標 2	加盟団体数	団体	110	108	110	110
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標 2						
成果指標 1	主催・支援事業数	件	22	19	25	25
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	350	350	350	350
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	1,153	1,152	1,156	1,132

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	対象事業 ①研修事業（文化講演会等）、②団体活動育成事業、③顕彰事業（芸術文化賞、同功労賞、）、④広報事業（「光彩」の発行、ホームページ更新・管理）、⑤調査研究事業	補助金350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
対象の個人・団体に対し、全国大会等出場奨励金を支給する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
活動を行う個人や団体が奨励金の支給を受け、さらなる意欲の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	奨励金支給個人数	人	8	12	4	4
活動指標 2	奨励金支給団体数	団体	1	2	2	2
成果指標 1	入賞個人数	人	2	2	4	4
成果指標 2	入賞団体数	団体	0	2	2	2
事業費 (A)		千円	180	320	240	240
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	581	721	643	631

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人：10,000円以内 本市に在住していること（就学以前の者を除く）。</li> <li>団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民により組織されていること（就学以前の者を除く）。</li> </ul>	全国大会等出場奨励金240千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別音楽協会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別音楽協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別音楽協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内の学校や音楽団体の水準向上と人材育成を図り、市民の音楽文化に対する関心を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	構成人員数	人	565	570	550	550
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	2,984	1,500	2,984	2,984
成果指標 2	事業への来場者数	人	1,443	2,767	1,769	1,769
事業費 (A)		千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	1,301	1,301	1,303	1,291

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	「課題曲講習会」「夏の演奏会」「冬の演奏会」「アンサンブルコンテスト」の開催	補助金900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				

事業名：発表の場拡大事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の芸術文化連合団体に加盟する団体等
手段（事務事業の内容、やり方）	申請のあった団体の発表活動に要する施設基本使用料（原則として附属設備使用料は除く）を補助する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	関係団体が実施している自主的・創造的な発表活動が活発化し、市民の鑑賞機会が拡充する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	文化・芸術連合団体に加盟する団体数	数	126	123	128	128
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	500	500	500	500
活動指標 2						
成果指標 1	制度を利用した発表回数	回	10	13	13	13
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	330	477	500	500
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	731	878	903	891

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	申請のあった団体の発表活動に要する施設基本使用料（原則として附属設備使用料は除く）を補助する。	補助金500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	芸術文化の振興を目的とする市民組織
手段（事務事業の内容、やり方）	各実行委員会に補助金を交付する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2	構成委員数	人	43	45	45	45
活動指標 1	補助金額	千円	600	1,400	1,600	800
活動指標 2						
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	597	1,273	1,560	1,560
成果指標 2	開催事業数	回	2	4	3	2
事業費 (A)		千円	600	1,400	1,600	800
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	3,008	3,805	4,017	3,147

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	各実行委員会が行う次の3部門の市民創造型芸術文化事業とする。 ・舞台部門（市民ミュージカル公演～3年に1回：次回 H28） ・音楽部門（まちかどコンサート年2回） ・展示部門（市民美術展受賞者作品展～5年に1回：次回 H29）	まちかどコンサート800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持		○			
低下					
改革方向性（成果）					



事業名：北海道林木育種場旧庁舎維持管理経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道林木育種場旧庁舎									
手段（事務事業の内容、やり方）									
（公社）シルバー人材センターに管理を委託し、施設利用者の把握、清掃などを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適正に維持管理される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	5,053.53	5,053.53	5,053.53	5,053.53
対象指標 2	延床面積	㎡	1,388.09	1,388.09	1,388.09	1,388.09
活動指標 1	開館日数	日	116	114	115	115
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	967	597	615	615
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,648	1,636	1,887	1,913
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	2,852	2,838	3,095	3,087

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	北海道林木育種場旧庁舎の管理運営。	維持管理経費 1,913千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市野幌太々神楽伝承会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市民団体として、市民への講演会や保存団体への支援を行う太々神楽の保存伝承活動に対し助成し、永く無形民俗文化財の保存に努める。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	構成員数	人	29	24	25	24
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	30	32	35	32
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>1,103</b>	<b>1,102</b>	<b>1,106</b>	<b>1,082</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	江別市野幌太々神楽伝承会の講演会等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し助成する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」
手段（事務事業の内容、やり方）	市指定文化財保持団体の保存伝承活動を助成し、永く無形民俗文化財の保存に努める。 ・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、指定文化財保護保存のため補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	指定文化財を適切に保護、保存する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	構成員数	人	197	190	200	190
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	150	150	150	150
活動指標 2						
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	36	35	35	35
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	150	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	953	952	956	932

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し助成する。	野幌太々神楽保存会への補助 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：陶芸文化普及振興事業

主査（セラミックアートセンター）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸を中心とした企画展示事業の開催。</li> <li>・日曜陶芸体験、初級・中級等の教室や講座の開催。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの市民に陶芸体験の機会や鑑賞の機会を提供し、陶芸文化、ひいては芸術文化全般に対する市民意識の高揚を図る。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	展示事業数	回	4	4	3	5
活動指標 2	教室・講座等事業数	事業	32	32	21	20
成果指標 1	展示事業入場者数	人	3,239	3,705	3,600	4,000
成果指標 2	教室・講座等事業参加者数	人	6,737	3,438	3,500	3,500
事業費 (A)		千円	7,465	7,433	7,467	7,837
正職員人件費 (B)		千円	6,020	5,611	5,639	5,868
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>13,485</b>	<b>13,044</b>	<b>13,106</b>	<b>13,705</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「創作食器展」ほか計5回の展示会を実施</li> <li>・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸指導員報酬 5,188千円</li> <li>・展示会実施経費 956千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	展示会数を増やし、様々な資料（作品）を市民に紹介し、陶芸をはじめとした芸術文化に対する関心を深めてもらう。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持				○	
見直し					
新規					
休止 廃止 その他					

事業名：市民文化祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
NPO法人江別市文化協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民文化祭を開催することにより、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	文化協会構成団体数	団体	111	108	113	113
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,400	2,400	2,400	2,400
活動指標 2						
成果指標 1	参加者数（出演者＋来場者）	人	16,054	19,380	19,245	19,245
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,400	2,400	2,400	2,400
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,407</b>	<b>4,404</b>	<b>4,414</b>	<b>4,356</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市民芸術文化活動の活発化を図るため、5部門の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助する。 1. 部門別事業 ①舞台部門（子ども文化祭ほか9事業） ②展示部門（市民美術展ほか7事業） ③文芸部門（川柳大会ほか3事業） ④生活科学部門（茶会ほか計3事業） 2. 総合芸術フェスティバル	補助金2,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体
手段（事務事業の内容、やり方）	芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体及びこれらの団体で構成する実行委員会等を対象に補助金を交付する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。 ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,650	3,650	1,650	1,650
活動指標 2						
成果指標 1	鑑賞者数	人	1,742	907	1,742	1,742
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,650	3,650	1,650	1,650
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	3,453	4,452	2,456	2,432

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	プロの団体、個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	音楽関係公演 1,000千円 演芸関係公演 650千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
埋蔵文化財包蔵地（遺跡）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び詳細分布調査等の実施により、資料の整備・公開により、周知の徹底を図る。 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置を講じ、記録保存を行う。 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費は原則として事業者が負担する。なお、詳細分布調査事業及び土木工事等に伴う発掘調査において事業者の費用負担が困難な場合は、国・道費の補助を受け事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
埋蔵文化財を適切に保護、保存する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2						
活動指標 1	所在確認調査・試掘調査実施件数	件	3	5	3	3
活動指標 2	発掘調査実施件数	件	0	0	0	0
成果指標 1	埋蔵文化財保護件数	件	3	5	3	3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	132	235	587	505
正職員人件費 (B)		千円	2,408	4,008	4,028	5,086
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,540</b>	<b>4,243</b>	<b>4,615</b>	<b>5,591</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	1. 埋蔵文化財包蔵地の管理や詳細分布調査等の実施と、資料の整備・公開し、市民ほか関係者に周知する。 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、発掘調査等の措置により記録保存を行う。 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。	・確認調査掘削経費 438千円 ・車両経費 67千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
		向上		
		維持		
		低下		

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
1. 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。 2. 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。 3. 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	企画展開催数	回	2	2	2	2
活動指標 2	展示資料点数	点	86	209	100	0
成果指標 1	企画展入場者数	人	1,451	1,194	500	500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	96	59	152	186
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	2,504	2,464	2,569	2,533

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・小中学校の夏休み・冬休みにあわせたロビー展の開催。	・展示協力等経費 30千円 ・展示印刷他経費 105千円 ・資料運搬経費 51千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：郷土資料デジタル化事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
郷土資料館収蔵等映像資料									
手段（事務事業の内容、やり方）									
フィルム等アナログ映像資料をデジタルデータに変換する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
デジタル化によって、劣化等による閲覧不可な状態を回避し、映像資料を永く後世に伝える。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	デジタル化対象資料数	点	29	20	20	20
対象指標 2						
活動指標 1	デジタル化実施資料点数	点	29	0	11	9
活動指標 2						
成果指標 1	デジタル化完了済資料点数	点	29	0	6	15
成果指標 2	デジタル化完了率	%	100	0	30	75
事業費 (A)		千円	243	0	217	168
正職員人件費 (B)		千円	2,408	0	1,208	1,174
総事業費 (A+B)		千円	2,651	0	1,425	1,342

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	指定文化財「野幌太々神楽」のフィルム等アナログ映像資料をデジタルデータに変換する。	・データ編集変換経費 168千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業 郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
郷土史を学ぶために各種講座を開催する。 ・子供学芸員カレッジ（小学生） ・再発見・江別探訪（一般） ・ふるさと歴史講座（一般） ・屯田兵講座（一般） ・歴史を学ぼう（小中学生・一般） ・夏休み歴史探検（小学生・保護者）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	事業開催回数	回	33	40	35	30
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,129	1,502	1,300	1,200
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	266	208	315	320
正職員人件費 (B)		千円	4,414	4,409	4,431	4,303
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,680</b>	<b>4,617</b>	<b>4,746</b>	<b>4,623</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生向け講座「子供学芸員カレッジ」(10回シリーズ)</li> <li>史跡・遺跡をめぐる「再発見・江別探訪」(3回開催)</li> <li>江別の歴史・文化を学ぶ講演「ふるさと歴史講座」</li> <li>江別の開拓に貢献した屯田兵を学ぶ「屯田兵講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供学芸員カレッジ 151千円</li> <li>再発見・江別探訪 71千円</li> <li>ふるさと歴史講座 25千円</li> <li>屯田兵講座 13千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名： 屯田資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
屯田資料館 野幌屯田兵屋									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に要する経費。</li> <li>・ 道指定有形文化財「野幌屯田兵第二中隊本部」の保存管理と公開。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、江別に礎を築いた屯田兵に対する理解が深まる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	屯田資料館開館日数	日	66	64	61	62
活動指標 2	屯田兵屋開館日数	日	9	12	5	5
成果指標 1	屯田資料館来館者数	人	408	543	450	500
成果指標 2	屯田兵屋来館者数	人	459	1,059	400	450
事業費 (A)		千円	2,308	2,121	2,286	2,330
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	3,913	3,724	3,897	3,895

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・ 屯田資料館などの維持管理及び運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常勤職員報酬 575千円</li> <li>・ 保守管理委託経費 1,635千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
郷土資料館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
郷土資料館の維持管理に要する経費。 ・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営 ・講座等教育普及事業の適正な管理運営 ・郷土資料の収集・保存 ・郷土資料の調査研究									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・市民に江別の歴史を理解してもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開館日数	日	302	303	304	303
活動指標 2						
成果指標 1	来館者数	人	3,207	3,509	3,500	3,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	13,009	12,285	13,712	13,152
正職員人件費 (B)		千円	5,217	5,210	5,236	5,086
総事業費 (A+B)		千円	18,226	17,495	18,948	18,238

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・郷土資料館の維持管理及び運営	・非常勤職員報酬 5,188千円 ・重油代等燃料費 751千円 ・電気代等光熱水費 1,178千円 ・保守管理委託経費 3,965千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校プール開放事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休場日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	9,938	9,631	9,444	9,212
対象指標2						
活動指標1	開放校数	校	17	17	17	17
活動指標2	開放日数	日	14	14	14	14
成果指標1	利用者数	人	11,064	11,438	10,000	10,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	4,219	3,805	3,799	3,756
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,565
総事業費(A+B)		千円	5,423	5,007	5,007	5,321

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	夏季休業期間中に小学校17校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者開放する。	・監視員等報酬 3,263千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午に市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校週5日制により生じた休日を子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。</li> <li>・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	実施校区の児童・生徒数	人	6,646	6,466	6,388	6,257
対象指標2						
活動指標1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標2	開放日数	日	216	202	250	240
成果指標1	利用者数	人	3,439	3,275	4,800	3,500
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,255	1,167	1,459	1,459
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費(A+B)		千円	2,459	2,369	2,667	2,633

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者に開放開放する。	・指導員謝礼 1,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：屋外体育施設管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
はやぶさ運動広場、屋外スケートリンク									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はやぶさ運動広場の利用受付、維持管理や軽易な補修整備を行う。</li> <li>・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。</li> <li>・両施設とも業務委託で行う。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	2
対象指標 2						
活動指標 1	はやぶさ運動広場開放日数	日	184	184	190	190
活動指標 2	屋外スケートリンク開場日数	日	29	28	25	25
成果指標 1	はやぶさ運動広場利用者数	人	30,086	24,340	38,000	30,000
成果指標 2	屋外スケートリンク利用者数	人	11,935	13,733	10,000	12,000
事業費 (A)		千円	1,761	1,677	1,938	5,475
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,162</b>	<b>2,078</b>	<b>2,341</b>	<b>6,257</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	施設の管理運営、スケートリンク造成を業務委託により実施する。	委託料 5,475千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、(515)「屋外スケートリンク管理運営事業」を統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：スポーツ少年団補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市スポーツ少年団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを行う青少年を増やす。</li> <li>・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	登録団数	団	45	44	45	42
対象指標 2	登録団員数	人	1,256	1,185	1,185	1,101
活動指標 1	補助金額	千円	2,150	2,100	2,030	1,930
活動指標 2						
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	12.5	12.2	12.4	11.9
成果指標 2	認定指導員の数	人	134	142	142	140
事業費 (A)		千円	2,150	2,100	2,030	1,930
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	2,953	2,902	2,836	2,712

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金 1,930千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名： あけぼのパークゴルフ場管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	あけぼのパークゴルフ場
手段（事務事業の内容、やり方）	施設の運営管理を指定管理者に委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	10,121	10,121	10,121	10,398
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	34,992	30,813	40,000	35,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	10,094	10,121	10,121	10,398
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	10,897	10,923	10,927	11,180

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	施設の運営管理を指定管理者に委託する。	指定管理料 10,398千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市体育協会補助金

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市体育協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対して補助を行う。</li> <li>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会に対し定額を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力の向上</li> <li>・競技スポーツをする人の増</li> <li>・競技スポーツを指導する人の増と資質向上</li> </ul>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	25	25	25
対象指標 2	加盟人数	人	8,536	6,899	8,600	7,000
活動指標 1	補助金額	千円	1,528	1,409	1,736	1,531
活動指標 2						
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	441	428	411	428
事業費 (A)		千円	1,528	1,409	1,736	1,531
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,331</b>	<b>2,211</b>	<b>2,542</b>	<b>2,313</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	江別市体育協会に対し補助金を支出。	補助金 1,531千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：全国大会等開催補助事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	全国大会件数	件	1	0	2	0
活動指標 2	補助金額	千円	400	0	300	0
成果指標 1	参加者数	人	732	0	1,138	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	400	0	300	0
正職員人件費 (B)		千円	401	0	806	0
総事業費 (A+B)		千円	801	0	1,106	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	26年度は全国規模の大会の開催がないため、該当事業なし。	

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			
新規			低下	○		
休止						
廃止						
その他						

事業名：大麻体育館管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	大麻体育館
手段（事務事業の内容、やり方）	施設の管理運営を指定管理者に委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	0
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	24,728	24,728	24,728	0
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	135,547	132,079	132,500	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	24,728	24,728	24,728	0
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	0
総事業費 (A+B)		千円	25,129	25,129	25,131	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6157)「屋内体育施設管理運営事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：市民体育館管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民体育館
手段（事務事業の内容、やり方）	施設の管理運営を指定管理者に委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	0
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	58,307	58,307	58,307	0
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	177,842	183,877	190,000	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	58,307	58,307	58,307	0
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	0
総事業費 (A+B)		千円	59,110	59,109	59,113	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6157)「屋内体育施設管理運営事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：森林キャンプ場管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
森林キャンプ場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	5,753	5,753	5,753	5,946
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	7,503	8,089	10,000	9,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,737	5,753	5,753	5,946
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	6,540	6,555	6,559	6,728

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 5,946千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：青年センター管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
青年センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	0
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	53,090	53,090	53,090	0
活動指標 2						
成果指標 1	年間体育館等利用者数	人	55,448	63,378	56,500	0
成果指標 2	年間プール利用者数	人	42,339	40,956	57,000	0
事業費 (A)		千円	53,090	53,090	53,090	0
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	0
総事業費 (A+B)		千円	53,491	53,491	53,493	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6157)「屋内体育施設管理運営事業」に統合して評価を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性(成果)

向上  
維持  
低下

○

事業名：屋外スケートリンク管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
屋外スケートリンク	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別第二中学校のグラウンドにおける外周200mのスケートリンク造成とその運営管理を委託する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
冬期間は、屋外スポーツ活動の場が少ないことからスケートリンクを設置して、青少年を中心とした市民に、スポーツ・レクリエーションの場を提供する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	リンク数	施設	1	1	1	0
対象指標2						
活動指標1	開場日数	日	29	28	25	0
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	11,935	13,733	10,000	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	3,128	3,125	3,172	0
正職員人件費(B)		千円	401	401	403	0
総事業費(A+B)		千円	3,529	3,526	3,575	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	平成26年度から、(503)「屋外体育施設管理運営事業」に統合して評価を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性(成果)

向上  
維持  
低下

○



事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	338	330	251	318
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,085	2,194	1,620	2,036
活動指標 2						
成果指標 1	全道大会出場者数	人	200	178	130	172
成果指標 2	全国大会出場者数	人	132	145	120	143
事業費 (A)		千円	2,085	2,194	1,620	2,000
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	2,486	2,595	2,023	2,391

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ3,000円/人（ただし、原則として100km圏内で開催される大会を除く）。 全国大会出場：道外開催：10,000円/人、道内開催：5,000円/人。 国際大会出場：10,000円/人～30,000円/人を支給する（大会内容、開催地によって変動）。	奨励金 2,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
スポーツ競技団体登録児童生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下） ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下） ・教育委員会表彰：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	1,256	1,185	1,185	1,101
対象指標2						
活動指標1	審査会開催数	回	3	3	3	3
活動指標2						
成果指標1	受賞者数	人	70	57	55	64
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,269	1,057	1,021	1,158
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,208	1,174
総事業費(A+B)		千円	2,473	2,259	2,229	2,332

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯作成 982千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	維持	増加
				○	
		低下			

事業名：社会人体育団体学校開放事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
10名以上で、かつその8割以上が当市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内24小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	クラブ登録数	団体	132	130	145	140
対象指標2	クラブ登録人数	人	3,093	2,797	3,600	3,000
活動指標1	開放校数	校	24	24	24	24
活動指標2						
成果指標1	学校開放利用人数	人	180,086	163,185	218,000	180,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	335	354	445	445
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,004	2,014	1,565
総事業費(A+B)		千円	2,743	2,358	2,459	2,010

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	10名以上で、かつその8割以上が当市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内24小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品 336千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ教室開催事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	屋内体育施設の指定管理者に「スポーツ教室」事業を指定管理事業として委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市民が健康づくりに興味・関心を持ち、生涯スポーツの基礎的な活動を会得し、日常的にスポーツに親しむこと。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	0
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	10,584	10,584	10,584	0
活動指標 2						
成果指標 1	参加者延べ人数	人	24,310	26,144	25,000	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	10,584	10,584	10,584	0
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	0
総事業費 (A+B)		千円	10,985	10,985	10,987	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6157)「屋内体育施設管理運営事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
学校、自治会等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。 メニューはミニテニス、フライングディスク、ユニカール、ハッピーボウリング、ティーボール、長なわとび&バンジージャンプの6種類。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	学校、自治会等の数	団体	190	190	190	190
対象指標 2						
活動指標 1	スポーツ推進委員数	人	30	30	30	30
活動指標 2						
成果指標 1	出前指導派遣者数	人	18	21	26	26
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	233	267	392	341
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	634	668	795	732

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 198千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： 体育施設整備更新事業（体育施設耐震化）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する耐震診断が必要な体育施設（体育館）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
昭和56年以前に建設された耐震診断が必要な体育施設について耐震診断を行い、その結果、必要に応じて耐震補強改修を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
利用者が安全に体育施設を利用できるよう、耐震化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する耐震診断が必要な体育施設数	館	0	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	耐震診断を行った体育施設数	館	0	1	1	2
活動指標2						
成果指標1	耐震改修方法等の検討が終わった体育施設	館	0	0	0	1
成果指標2						
事業費（A）		千円	0	7,644	9,600	119,500
正職員人件費（B）		千円	0	401	403	1,174
総事業費（A+B）		千円	0	8,045	10,003	120,674

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育館の体育館棟建具改修工事、体育館棟外壁改修工事</li> <li>大麻体育館の耐震診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育館建具改修・外壁改修工事 110,000千円</li> <li>大麻体育館耐震診断委託料 9,500千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、パークゴルフ大会と家庭婦人スポーツ大会（バドミントン、卓球、バレーボール）を3市持ち回りで開催する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	0	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	大会数	大会	0	2	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	市民の参加者数	人	0	163	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	140	0	101
正職員人件費 (B)		千円	0	401	0	391
総事業費 (A+B)		千円	0	541	0	492

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	近隣3市交流パークゴルフ大会を開催する	入賞記念品 81千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
一般財団法人江別市スポーツ振興財団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。</li> <li>・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	39,829	39,891	39,900	44,735
活動指標 2						
成果指標 1	参加者数	人	6,886	6,543	8,500	7,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	39,829	39,891	39,900	44,535
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>40,632</b>	<b>40,693</b>	<b>40,706</b>	<b>45,317</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し補助金を支出。	補助金 44,535千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：東野幌体育館管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
東野幌体育館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	0
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	18,538	18,538	18,538	0
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	59,353	57,332	63,000	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	18,538	18,538	18,538	0
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	0
総事業費 (A+B)		千円	18,939	18,939	18,941	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度		

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	平成26年度から、(6157)「屋内体育施設管理運営事業」に統合して評価を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：屋内体育施設管理運営事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
各施設の管理運営を指定管理者に委託する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	0	0	0	4
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	0	0	0	175,335
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	0	0	0	480,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	175,355
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	177,702

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	各施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 175,335千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	平成26年度から、(509)「大麻体育館管理運営事業」、(510)「市民体育館管理運営事業」、(513)「青年センター管理運営事業」、(623)「スポーツ教室開催事業」、(5241)「東野幌体育館管理運営事業」を統合して評価を行う。	改革方向性(成果)	減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
国内研修交流訪問団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
友好都市土佐市との相互交流を行う。 ○訪問：10月中旬 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○受入：1月末 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○事業集録作成 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業を円滑に行う団体に対し、補助金を支出する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性養われるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	13	14	13	13
対象指標 2	土佐市からの研修訪問数	人	16	18	16	16
活動指標 1	補助金額	千円	1,073	1,232	1,232	1,232
活動指標 2						
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	2,049	2,251	1,881	3,111
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	719	411	625	946
事業費 (A)		千円	1,164	1,410	1,335	1,386
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	3,572	3,815	3,752	3,733

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問：10月中旬 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学</li> <li>受入：1月末 ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学</li> <li>事業集録の作成</li> <li>活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	引率教諭・同行職員旅費 259千円 交流訪問団への補助金 1,127千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	海外研修交流訪問団
手段（事務事業の内容、やり方）	<p>姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。</p> <p>○派遣：（事前研修）グレシャム市・江別市の概要把握、語学研修、（実地研修）ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学</p> <p>○受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学</p> <p>○事業報告書作成</p> <p>・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業の円滑な運営を行う団体に対し補助金を交付する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚を養うようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	8	8	8	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問数	人	7	9	9	9
活動指標 1	補助金額	千円	1,313	1,413	1,428	1,443
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	10	9	10	10
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	1,586	1,212	1,555	1,013
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,672	1,785	1,821	1,896
正職員人件費 (B)		千円	2,007	2,004	2,014	1,956
総事業費 (A+B)		千円	3,679	3,789	3,835	3,852

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣：（事前研修）グレシャム市・江別市の概要把握、語学研修（実地研修）ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学</li> <li>受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学</li> <li>事業報告書作成</li> <li>活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引率教諭旅費 374千円</li> <li>国際交流員旅費 374千円</li> <li>交流訪問団への補助金 1,110千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				